

第6回デイサービスゆうゆうの家運営推進会議

開催日時	平成31年3月23日（土） 16：30～17：30
開催場所	デイサービスゆうゆうの家 食堂
参加者 (6名)	ご利用者家族様 嶋口様 近隣住民代表 富永様 民生委員 中西様 南第2地域包支援センター職員 清野様 デイサービスゆうゆうの家代表 田中久嗣 デイサービスゆうゆうの家管理者 田中三代子
司会進行	田中三代子
議事録	田中久嗣

1 当日の次第

- (1) 開会の挨拶
- (2) 出席者の紹介
- (3) 前回議事録の配布（この議事録につきましてはホームページにて公開しています）
- (4) 活動状況の報告
- (5) ヒヤリハットや事故等の報告
- (6) 利用拒否利用者様への対応
- (7) 出席者からの活動状況の評価、要望、助言等の傾聴
- (8) 意見交換、質疑応答
- (9) 閉会の挨拶

(1) 開会の挨拶

本日はお忙しい所お集まり頂きまして、誠にありがとうございます。

私、司会進行をさせていただきますデイサービスゆうゆうの家、管理者の田中です。

よろしくお願い致します。

それでは、第6回デイサービスゆうゆうの家運営推進会議を開催致します。

(2) まずは本日の出席者の紹介をさせていただきます。

（今回利用者様の調整がつきませんでした）

(3) 前回の議事録を配布したいと思います。この議事録は当施設のホームページにて公開していますのでどなたでも閲覧できるようになっています。

(4) それでは活動状況の報告です。

平成31年2月の当事業所の利用者数はのべ141人です。（要支援者4名、要介護者12名）

終日車椅子の方が2名おられます。

1日平均6名です。1日の利用者平均介護度は2.1です。

次に活動報告をさせていただきます。

10月 コスモス鑑賞（和泉リサイクル公園）

11月 紅葉鑑賞（庭代台公園）

12月 クリスマスビンゴ大会

1月 ジャンボすごろく大会

(5) ヒヤリハットと事故の報告（ヒヤリハット5件、事故0件）

(6) 利用拒否利用者様への対応

利用拒否の利用者様対応について

拒否理由について

本人の声・気持ち	家族の声・気持ち
<ul style="list-style-type: none">・家ですることがいっぱいある・ただ行きたくない・俺はまだボケてない・人との会話するのが嫌・まだ自分はいい・意義を理解していない、できない・恥ずかしい・認知症になったことを認めたくない・面倒くさい知らない人と話すのは疲れる	<ul style="list-style-type: none">・家族が利用に消極的・お金がかかる・手続きが面倒・口論になるから言いたくない・一度説得しても当日には結局拒否する

状況と対応

1、初回利用時の対応（今後のケアに繋がる貴重なタイミング）

①体験利用時（初回）家人様も一緒に利用頂く。

②帰宅願望の現れるタイミングに家人様に協力頂く。

＜ケース1＞

体験利用時（初回）に強度の帰宅願望があり、その時点で自宅にお送りしたことがあります。この場合再度ご利用いただき、再チャレンジ致しました。方法としましては、初回時、お食事をお出しした瞬間に「このようなものを呼ばれる訳には参りません」と帰ろうとされましたので、このタイミングに息子様に協力いただき来所の上なだめて頂きました、その後、落ち着かれ予定の15時までご利用下さいました。（以後、ご利用に繋がり現在2回/週）

③記憶を繋ぐために、写真を利用

＜ケース2＞

初回利用時にご本人が楽しまれたプログラムの写真を撮り、次回ご利用時までにご自宅に掲示いただく、または、家人様に協力いただき、何度もご本人に見せて貰い、出来れば「何々しましたね、楽しかったですね、また、行きましょうね」などと、お声をかけていただく。

④記憶認識のある職員が迎えに行く

初回利用前には必ず訪問させていただきますが、なるべく初回利用日の間近に訪問、訪問した職員がお迎えにあがる。「この人知ってる」って職員が行く方が安心され、拒否に繋がりにくい。

2、ご利用開始以降

「布団から出たくない」「何となく行きたくない」

①寝室、お部屋まで行く

②送迎時間を変える 送迎の順番を変える。タイミングが合わない場合は出直す。

〈ケース3〉

起きたばかりだと機嫌が悪く、朝ご飯を食べた後で行くと来てくれる。頑なに拒否しているわけではなく、そこには何か本人なりに理由があるのです。相手に合わせていけば、愛想良くなってきます。まさにパーソンドケアです。

③家人様にしばらく車で送ってもらう。

④お迎え時、利用者様の好みの職員が行く

女性の対象者なら男性スタッフ、男性の対象者なら女性スタッフというように、性別、声、顔、年齢、体型などその人が好むスタッフというのはいると思います。

⑤相手の記憶に合わせて、初めて会う時のように丁寧に

認知症の軽度の段階であれば、名前まではともかく、スタッフの顔は覚えて下さいますので、いつものように「久しぶり、今日も宜しくお願ひします。」と元気に接するだけでも、問題はないのですが、認知症が進行して、顔も覚えられない段階、ましてご家族の顔も認識できない段階になると、それは全くの逆効果になってくると思います。なぜかというと初対面の知らない人が馴れ馴れしくしやがってと、警戒感が非常に高くなります。その場合は、相手の心、記憶に合わせて、常に初めて会う時のように丁寧に、納得して貰えるようにお迎えに行きます。

(7) それでは活動状況の評価や要望、助言等をお聞かせ頂きたいと思います。

清野様・・・利用拒否の対応についてですが、認知症の方が多くを占められると思いますが、この時期（春先）多くの相談が包括にあります。また、しばらく入院されると認知症の悪化が見られます。対応としては先程の話にあったようにしっかり観察し、対応することが重要です。

話は逸れますが、最近南区でおれおれ詐欺が増えて来ています。利用者様、ご家族様に注意喚起よろしくお願ひします。「風邪ひいている（声？）」とか「この携帯は借りている（番号違い）」などと巧妙な手口を用いますので、このような発言があればすぐ警察に通報して下さい。

田中久嗣・・・富永さんの近所は認知症の人、見かけますか？

富永様・・・おるおる、警察にも連絡したけど、夜中にドアを足でドンドン蹴るやつがおんねん夜も眠られへん・・・

(8) 続きまして、質疑応答に入りたいと思います。

中西様・・・老人ホーム（デイ）に行っている人が周りの人が認知症で会話にならず、もう行きたくないという話を耳にします。こちらではどのような対応されていますか？

田中久嗣・・・ここでは、座席で調整しています。認知症の方同士、そうでない方はそうでない方と、隣り合わせに座って頂いています。確かに、当施設も1年前は認知症の方ばかりという日があり、そこに体験で来られた方が、話せる人が居ないので、との理由でご利用を見送られました。

中西様・・・家族が認知症の老人にラジオを大きい音で聴かせ、ほったらかしの人がいます。

そのような方は、このようなデイサービスを利用すべきですよね

田中三代子・・その通りですが、先程述べましたように手間やお金や、色々な諸事情で見送られて
いるのではと思います。嶋口様からは何かありますか？

嶋口様・・・母がこちらでお世話になっていますが、良く話をするように成りましたね

田中三代子・・ご自身から話されること増えていますか？

嶋口様・・・そう、そうですね、増えています。それよりよく食べるので、体重が心配です。

それではこれをもちまして第6回ゆうゆうの家運営推進会議を終了させて頂きます。

次回の来年の9月辺りに予定しております。その際はまたお声を掛けさせて頂くと思います
のでよろしくお願ひします。本日は誠にありがとうございました。